

Visa のインバウンド施策 5ヶ国語での多言語展開と地域特性を活かしたキャンペーンで インバウンド消費拡大を目指す

ビザ・ワールドワイド(以下 Visa、代表取締役:ジェームス・ディクソン、所在地:東京都千代田区)は、インバウンド消費の拡大のための施策として、旧正月の時期にあわせ、訪日旅行者に人気の高い表参道、京都、札幌という3つのエリア・都市でインバウンド施策を展開いたします。各エリア・都市で開催するキャンペーンでは、カード(クレジットカード、デビットカード、プリペイドカードなど)が利用できることを示すアクセプタンスマークの掲出、地域特性を活かしたサービスや賞品をキャンペーンに加えることで、観光客による更なる消費の増加と地域の活性化への貢献を目指しています。また、本年度は、英語、中国簡体字、中国繁体字、韓国語、タイ語の5ヶ国語で各キャンペーンの外国人向け告知(<http://visa.co.jp/visitjapan/>)を行ないます。

表参道と札幌でのキャンペーン実施は、本年度で4回目となります。表参道では、“Tokyo Shopping Week 2016”を2016年1月18日~2月21日までを開催し、スクラッチキャンペーンや今回初めて日本の伝統文化である着物を身にまとった「街頭コンシェルジュ」が英語または中国語で表参道をご案内するといった、日本ならではのおもてなしも予定しています。札幌では、世界中から多くの観光客が来場する「さっぽろ雪まつり」が開催される2016年2月5日から2月11日まで、雪まつり会場においてキャンペーンを実施し、今回初めて、自国までお持ち帰りいただける北海道産天然雪のハンドメイド雪だるまをキャンペーン賞品として取り入れ、地域のおもてなしを演出しました。

表参道、札幌に加えて、京都では昨年12月1日に京都市と締結した「地域活性化包括連携協定」のもと、初めてキャンペーンを実施いたします。京都では、地域活性化包括連携協定を通じて開発した京都オリジナルのアクセプタンスマークを免税店やレストランなどのカード加盟店に配布するとともに、外国人観光客向けの消費喚起キャンペーンとして、“KYOTO x Visa Campaign”を2016年2月1日から2月29日まで開催いたします。同じ期間中に実施される、京都の美味しい物を特別な価格で楽しむことができる“京都レストランウィンタースペシャル”とも連携し、キャンペーン賞品として京都の伝統産品を取り入れることで地域産業の活性化にも貢献したいと考えています。

またこれらのキャンペーンを含めたインバウンドに関する情報を適切に消費者に届けるために Visa では、英語、中国簡体字、中国繁体字、韓国語に加えて本年よりタイ語の計5言語でキャンペーン情報を発信しています。海外旅行の動向と旅行行動をグローバルに調査した「Visa Global Travel Intentions Study 2015(2015年 Visa 世界旅行意識調査)」¹では、今後1年以内に日本を訪れたいと回答した外国人観光客を国別に見ると、台湾、タイ、香港、中国、韓国の5ヶ国が全体の約7割を占めています(図1参照)。また、カード受入の頻度・場所と消費意向を聞いたところ、台湾と中国からの旅行者では約5割近くの方がカードによる支払いがもっと利用できれば消費額は増えるという回答しており、タイ、韓国、香港からの旅行者でも約3割程度の方が同様の回答をしています(図2参照)。このことから、インバウンド消費の拡大には、香港、台湾、中国、韓国、タイからの旅行者への情報発信を現地の言葉で適切に行なうことが重要と考えています。

日本政府観光局(JNTO)が2016年1月19日に発表した、2015年1月から12月までの訪日外客数累計は1,973万7千人となり、政府が2020年までの目標に掲げた訪日外国人2,000万人が目前に迫っています。こ

¹ 2015年1月~2月実施の Visa Global Travel Intentions Study 2015 より引用

のような状況の中、Visa はカード決済環境を明示する「アクセプトマーク」の店頭掲示の推進を行うことで、より安心してお買い物を楽しんでもらえる環境整備すると共に、地域に根ざしたおもてなしを提供することにより、地域経済の振興への貢献を目指してまいります。

【図 1: 訪日観光に関心が高い国】

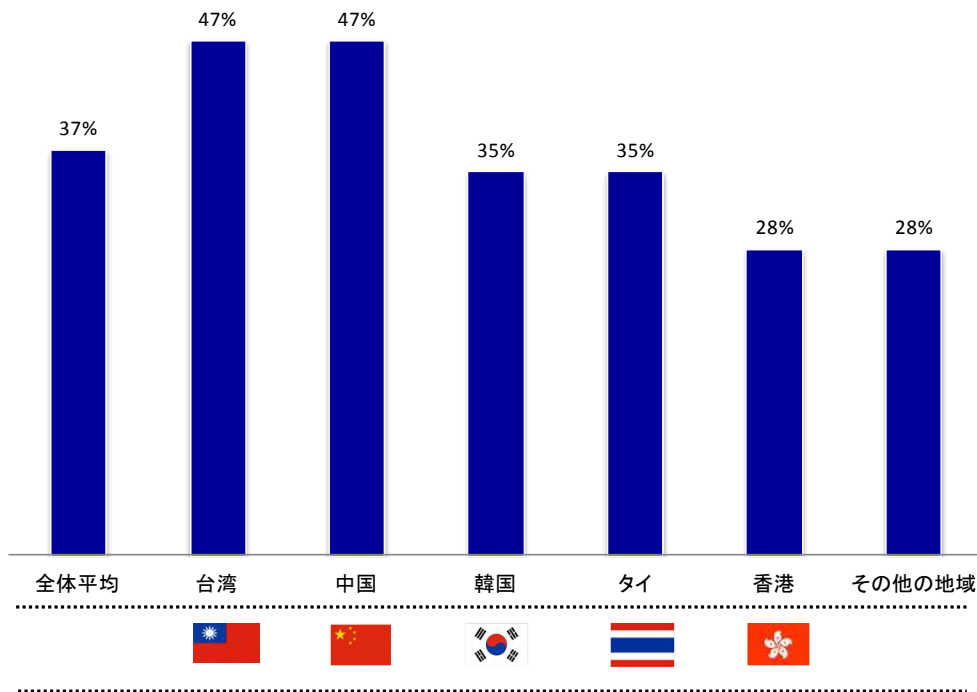
今後 1 年以内に最も旅行をしたい目的地を「日本」と答えた人の国別割合

国名	比率(%)
台湾	23%
タイ	17%
香港	14%
中国	8%
インドネシア	7%
シンガポール	7%
韓国	6%
マレーシア	6%
アラブ首長国連邦	2%
アメリカ合衆国	2%

n=875

【図 2: カードが広く使用出来た際の潜在的効果】

最近、日本に観光旅行で訪れた際、より頻繁により多くの場所でカードによる支払いができたとした場合、より多く消費したと回答した人の割合



n=全体 (718)、台湾 (179)、韓国 (102)、中国 (60)、香港 (93)、タイ(143)、その他の地域 (141)
最近、日本に旅行した外国人

###

ビザ・ワールドワイドについて

ビザ・ワールドワイド(以下、Visa)は、世界規模のペイメントテクノロジーを提供する企業です。世界の 200 以上の国と地域において、迅速、安全かつ信頼のおける電子決済で消費者、企業、金融機関、政府機関を結ぶ役割を果たしています。毎秒 65,000 件を超す取引を処理できる VisaNet は世界でも最先端の情報処理ネットワークで、電子通貨の基盤であると同時に、消費者を詐欺や不正行為から守り、加盟店への確実な支払いを可能にしています。Visa の事業の特色として、カード発行、融資、会費や利息の設定を消費者に直接行わないことが挙げられます。Visa は取引先金融機関を通じて、デビットカードによる即時決済、プリペイドカードによる事前決済、クレジットカードによる事後決済といった多彩な選択肢を提供しています。詳しくは www.corporate.visa.com (英語サイト) または www.visa.co.jp (日本語サイト) をご覧ください。